

独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター
研究員採用選考案内

独立行政法人国立文化財機構
アジア太平洋無形文化遺産研究センター
令和 7 年 4 月 15 日

このたび当機構では、下記のとおり研究員を募集します。

1. 職種・勤務場所・採用予定人員・職務内容

- (1)職 種 独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター任期付研究員
- (2)勤務場所 アジア太平洋無形文化遺産研究センター(大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁)での勤務となります。
- (3)採用予定人員・職務内容

分野・ 採用予定人数	無形文化遺産 1名
職務内容	(雇入れ直後) 国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の賛助する独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センターが行っているアジア太平洋地域における無形文化遺産の保護に関する調査・研究およびそれらに関する国際的動向の情報収集並びにそれらを統括すること。 ※業務の詳細については、当センターのウェブサイト(https://www.irci.jp/jp)を参照のこと。 (変更の範囲)同上

2. 採用予定日 令和7年(2025 年)10月1日

3. 勤務条件および給与

(1) 勤務条件

- ①雇用期間 令和7年(2025 年)10月1日～令和10年(2028 年)9月30日
※前倒し採用可能、その場合の任期は前倒し採用した日から3年間
※勤務態度および勤務成績が優れている場合は、正規研究員採用試験を実施し、任期の定めのない研究員採用となる可能性があります。
 - ②試用期間 採用日から 6 か月間(ただし、弊機構が特に認めたときは、試用期間を延長又は短縮する場合があります。)
 - ③勤務時間 始業 8:45～終業 17:30(1 日 7 時間 45 分)
 - ④休憩時間 60分(12:00～13:00)
 - ⑤休 日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
 - ⑥休 暇 等 年次有給休暇有、その他休暇(夏季休暇・忌引等)
- *超過勤務、休日勤務等の可能性があります。

(2) 給 与

- ①基 本 給 年俸 (3,600,000 円～6,000,000 円の中で、経歴および業績等で決定)
税引き前の額。年俸の 12 分の 1 の額を毎月 17 日に支給します。
 - ②諸 手 当 通勤手当(月 150,000 円上限)、超過勤務手当、休日給
 - ③保 険 等 国家公務員共済組合に加入
- *詳細は「独立行政法人国立文化財機構任期付職員就業規則」等によります。独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトの規則ページを参照願います。(独立行政法人国立文化財機構 WEB アドレス: <https://www.nich.go.jp/>)

(3) 受動喫煙防止措置の状況 敷地内全面禁煙

4. 応募資格

分野	応募資格
無形文化遺産	① 大学院博士課程(博士後期課程)修了またはこれと同等以上の学歴を有する者。 ② 無形文化遺産・文化財学、文化人類学、地域研究(アジア・オセアニア)、博物館学、その他無形文化遺産に関連する分野における調査・研究において、10 年程度の経験を有する者が望ましい。 ③ 業務遂行上必要とされる言語(英語・日本語)の十分な能力を有する者。海外との交渉業務を行うため英語能力は履歴書の5相当が必須。 ④ 無形文化遺産、文化財保護、文化政策に関する知識を有すること。 ⑤ ユネスコの無形文化遺産保護条約について知識を有し、無形文化遺産分野における国際協働に関して意欲を有する者。国際研究協力活動を主導した経験を有することが望ましい。

5. 選考方法

- (1) 第1次選考 研究業績、事業実績(参加事業等)、論文、著書等により書類選考を行います。
 (2) 第2次選考 第1次選考合格者に対して、以下の試験を実施します。

- ①筆記試験 ・小論文(専門分野に関するもの)
 ・語学(英文和訳・英作文)

②面接試験

*第2次選考は、令和7年(2025年)7月3日(木)、東京都において実施を予定しています。
会場の詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。

6. 提出書類

以下の書類を御提出ください。なお、書類①、②、③、④、⑧は A4 片面印刷、クリップ止めにて提出してください。(冊子、ホチキス止め不可。)

	書類	提出時の注意事項
①	履歴書	様式1 パソコン入力可。氏名欄は自筆。写真貼付。
②	研究業績調書および事業実績調書	様式2—1、様式2—2 パソコン入力可。
③	国内外での活動歴	様式3 パソコン入力可。
④	課題論文	様式4 2000 字程度、パソコン入力可。
⑤	卒業証明書または卒業証書の写し 修了証明書または修了証書の写し	大学学士課程以上の全てを提出。 在学中の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出すること。 外国語で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
⑥	成績証明書	大学学士課程以上の全てを提出すること。 外国語で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
⑦	学位証明書または学位記の写し	博士の学位を取得している場合は提出すること。 外国語で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
⑧	研究業績の別刷	主な研究業績(論文等)の別刷を提出(3点以内)。 <u>ただし、冊子のものは不可。冊子の場合、必ず A4 片面コピーをとって提出すること。</u> 博士論文等提出時は、日本語で 4,000 字以内の概要を添付すること。
⑨	語学の証明書	TOEIC 等の語学検定を受験している場合は、点数および取得年月等を履歴書(別紙様式1)の「語学欄」、「他の外国語欄」に記載し、公式認定証の写しを添付すること。

***御提出いただいた書類は返却しません。** 個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用しません。当法人の文書管理規程に基づき、厳正に管理します。

7. 採用予定者の決定および発表

第1次選考および第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。

選考結果は、第1次選考については、令和7年(2025 年)6月下旬頃までに、合格者にのみ本人宛てに通知します(履歴書記載のメールアドレス又は電話番号に下記担当から御連絡します)。第2次選考については、令和7年(2025 年)7月下旬頃までに、第2次選考受験者全員に通知します(履歴書記載のメールアドレス、電話番号又は住所宛てに下記担当から御連絡します)。

8. 応募手続き等

- (1) 選考案内は、独立行政法人国立文化財機構ウェブページからダウンロードできます。

(独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト <https://www.nich.go.jp/>)

- (2) 応募締切

令和7年(2025 年)6月20日(金)17時00 分必着

*応募書類は、封筒に「**研究員応募書類在中**」と朱書きし、配達確認のできる方法で郵送により提出してください(持参不可)。

- (3) 提出先・問合せ先

独立行政法人国立文化財機構

アジア太平洋無形文化遺産研究センター 総務担当

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 堺市博物館内

TEL: 072(275)8050

Email: [soumu_irci\(at\)nich.go.jp](mailto:soumu_irci(at)nich.go.jp) ※(at)は@に変えてください

9. 募集者名称

独立行政法人国立文化財機構

(様式 1)

履 歴 書

年 月 日 作成

ふりがな	性 別 ※
氏 名	
生年月日 年 月 日生(歳)	
ふりがな	電 話 番 号
現住所 (〒 —)	自宅
	方 携帯
ふりがな	電 話 番 号
その他連絡先(海外在住の方は日本における連絡先を記載のこと。) (〒 —)	
	方
メールアドレス(添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと。)	

写真貼付欄
(3×4cm)
最近3月以内に撮影のもの
上半身、正面向きの写真
写真裏面に氏名を記入すること

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

区分	年	月	学 歴 ・ 職 歴 等	
学 歴	年	月	高 等 学 校 卒 業	
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
職 歴	年	月から		週 時間勤務
	年	月まで		
	年	月から		週 時間勤務
	年	月まで		
	年	月から		週 時間勤務
	年	月まで		
	年	月から		週 時間勤務
	年	月まで		

履 歴 書 記 入 要 項

- (1) すべての欄に、正しく記入すること。記入事項がない場合にも、該当欄内に「なし」と記入すること。記入不足がある場合には、申込みを受け付けないことがあります。また、虚偽の記載がある場合には、採用される資格を失うことがあります。
- (2) 様式に直接入力して作成すること。印刷した様式に記載する場合は、黒のインク又は黒ボールペンで記入すること。
- (3) 年は西暦で、数字は算用数字、ふりがなはひらがなで記入すること。文字は楷書により正確に書くこと。
- (4) 写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (5) 職歴欄にはすべての職歴を履歴順に記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。資格・学位は主なものを選んで枠の数以内で記入すること。また、取得見込の資格等も併せて記入すること。
- (6) 語学欄は、下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (7) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。 (入門・初級) (英語の場合、目安として、TOEIC370 点程度又は英検 3 級～準 2 級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級) (英語の場合、目安として、TOEIC550 点以上又は英検 2 級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級) (英語の場合、目安として、TOEIC780 点以上又は英検準 1 級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級) (英語の場合、目安として、TOEIC850 点以上又は英検準 1 級～1 級程度)

例 英語（1 2 3 ④ 5） 他の外国語 （独語 4）

- (8) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC 等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。
例 英検準 1 級（○年○月） TOEFL iBT 1 0 0 点（○年○月）
- (9) ボランティア経験等は、その他欄に記入すること。
- (10) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、添付ファイルを受信できるアドレスを記すこと。

(様式 2—1)

研究業績調書

氏名				
○印	テーマ	内 容	発表等の時期および方法	共同研究者

記 入 要 領

- 研究業績の記入は次の順序とし、かつ、同一事項のものについて年代順に記入してください。
 イ．公刊図書 ロ．報告書 ハ．論文 ニ．解説・翻訳等
 ホ．学会発表 ヘ．研究会等における口頭発表 ト．その他
- 研究テーマ等で代表的なものに○印をつけてください。
- 共著の筆頭著者である場合は「共著◎」と記載してください。
- 内容をごく簡略に記してください。

(様式 2ー2)

事業実績調書

○印	テーマ	事業内容	氏名 実施年月日	主催者情報および ご自身の役割

記入要領

1. 内容をごく簡略に記してください。
2. 主催者の情報やどのような立場でその事業に参画したのかを記載願います。

(様 式 3)

国内外での活動歴

年 月 日	国名および対象	事業名称（事業主体）	担 当
(国 内)			
(国 外)			

年 月 日	国名および対象	事業名称 (事業主体)	担 当

(様式4)

課題論文

「これまでの自身の研究業績を踏まえ、アジア太平洋無形文化遺産研究センターの業務に対してどのような貢献ができるか述べて下さい」 (2,000字程度、PC作成可)

(様式 4)

